

もがみ大豆だより

第2号<中耕・培土編>
令和5年7月6日
最上総合支庁 農業技術普及課
TEL：29-1329（作物担当）

曇りや雨の日が多い予報 梅雨の晴れ間で遅れずに中耕・培土に入ろう！

◎中耕・培土

向こう1か月は平年と同様に曇りや雨の日が多い予報です（気象庁 東北地方の1か月予報）。晴れ間を逃さずに中耕・培土を行い、大豆の生育促進と雑草防除に努めましょう。

【1回目培土のポイント】

- 本葉3葉期
- 子葉節が隠れる高さまで培土を行う
- 株本の土が凹状となると水が停滞するため、必ず凸状にする
- 雨の多い年は雑草が発生しやすいため、速やかに中耕・培土を行う

【2回目培土のポイント】

- 本葉6～7葉期
- 初生葉節が隠れる高さ（10～15cm）まで培土を行う
- 遅くとも開花の1週間前までに終了する

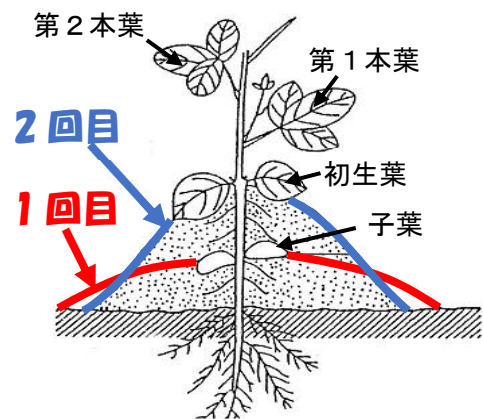


図1 培土のイメージ

◎雑草対策

大豆より雑草の生育が早い場合や、中耕培土までに雑草の繁茂が予想される場合は、除草剤の処理を検討します。

雑草対策は生育初期の中耕・培土や除草剤での対策を基本としますが、除草剤が効かないほど大きくなった雑草は早期に抜き取り、圃場外に持ち出しましょう。雑草の種子を圃場に落とさないことが来年の雑草を減らすポイントです。

【除草剤使用のポイント】

- 発生している雑草種を確認し、適用のある除草剤を選択する。
- 雑草の葉齢を確認し、遅れずに施用する。
- 隣接圃場に他の作物がある場合は飛散(ドリフト)に留意する。

農薬危害防止！ 農薬は必ず使用方法を確認し、正しく使用しましょう！
STOP農作業事故！ 農作業はあせらず、きままず！